

監 査 報 告 書

令和 8 年 6 月 2 日

社会福祉法人比内ふくし会

理事長 千 葉 弘 樹 様

監事

島 山

監事

山 口 由 秀



私たち監事は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの令和 7 年度の理事の職務の執行及び社会福祉法人比内ふくし会の財務状況について、監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその概要

- (1) 各監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。
- (2) 上記 (1) の方法により当該会計年度に係る事業報告及びその付属明細書並びに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類及び財産目録について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務に関しては、法令又は定款に基づき適正に遂行しているものと認めます。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 利益改善の成果と今後の課題

今期は福祉センターの定員削減等により収益は減収となった。又人件費、事業費についても増加となり、前年の利益を下回る結果となっている。

処遇改善等による収益改善も見られるが、今後物価高騰、人件費のアップの影響が出てくると思われる。一層の経営体制の引き締めと努力を期待する。

以上